

T. T. (社会システム学科・2年次生)

I. 留学レポート

② 留学決定から出発までの期間

私は留学前の勉強も今回の留学を通して重要だと思いました。少しはホストファミリーとのコミュニケーションなどもとれ、授業にもついていきやすいと思います。また一番留学前の効果的な勉強法は、映画を見ることをお勧めします。楽しみながら外国での日常生活を見ることができたり、会話を学べたりととても効果的だと思います。文法書なども復習することも大切かもしれませんが、留学に行けば英語を話さないといけないのでスピーキングやライティングなどのアウトプットの勉強が必要だと思います。また英語でジャーナルを毎日書いていくのもいいと思います。また頭の中で思ったことを英語で考えてみるなどすることは、留学にもつながってくると思います。留学前はとりあえず毎日英語に触れるという習慣を身に付けてください。また自己紹介の準備をしたり、日本の紹介ができるといいと思います。

④ 語学研修機関

授業は 200 から 700 というクラスが 6 クラスほどありレベルごとに分かれ、ひとクラスだいたい 10~20 人ほどでした。2 か月で 1 タームになっており、その間中間テストと期末テストがあります。中間と期末で 60 点以上取れば次のクラスに上がることが出来ます。日々の授業を大切に、宿題をこなしていればテストは大丈夫です。初めは 400 のクラスにいたので比較的易しかったのですが、600 ぐらいにあがればエッセイを書いたりプレゼンをしたりと内容がとても濃く、やりがいのある授業でした。また放課後にはスポーツアクティビティやコンバーセッションカフェといったようなものがあり、ゲームをしながら会話をしたり、体をうごかせるのでぜひ参加してください。週末には各週異なるアクティビティが用意されています。学校はひろくてとてもきれいです。設備も整っていて学生は安く利用できるジムもおすすめです。

II. 留学中の感想

初めはとてもドキドキしてホームシックになったり、迷子になったりしましたが驚くことに段々生活に慣れます。またホストファミリーとうまくいかないこともあると思いますが、そういう時は英語で気持ちを伝えるのは難しいですが、はっきりということが大事だと思

います。日本人とコミュニケーションの仕方が違うので、言わないとわかってくれません。限られた半年という期間しかないので我慢せずに何でも相談することもいい経験だと思います。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

私は冬になると最高でマイナス 40 度になるウィニペグというカナダでもとても寒い地域に行くということで、初めは想像もできなくて不安だらけでしたが、経験してみると意外と大丈夫でした。日本からユニクロのジャンパーを持っていったのですが冬を乗り越える勇気がなかったので 11 月ぐらいにあるブラックフライデーというセールみたいなものを利用してジャンパーは 7,000 円くらい、ブーツは 10,000 円ぐらいで購入しました。また洗濯が週に一回ぐらいしかできなかった所以我は多めに下着やヒートテックを持っていきました。またカナダにもって行ってよかったなと思ったものは、日本食が恋しくなるので味噌汁や緑茶を持って行き、また洗濯ネットや薬、化粧水なども重要だと思います。私自身、持ち物に関して神経質だったのですが、お金があれば忘れたとしても向こうで購入できるのであせらなくても大丈夫です。また大きいサイズのスーツケースと中くらいのスーツケースとボストンバックで行きました。またホストファミリーにお土産として、歌舞伎のバック、抹茶味のキットカットや 100 均で売っているお寿司のキーホルダーなどを持っていきました。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学に行くということで行ったとしても日本の方がおられたりするので日本語を控えたりするよう心掛けることも大事だと思います。この半年間はとても貴重な時間になると思います。体に気を付けて日本では体験できないことを思いっきり体験して楽しんでください。

R. Y. (英語英文学科・2年次生)

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

私は大学入学前から留学を考えていて、漠然と 3 回生になってからの留学を希望していました。しかし、2 回生の春になり留学について調べてみると 3 回生からだ、自分の英語力ではとても難しく、またセメスター留学は 2 回生までということを知り思い切ってこのプログラムに参加しようと思いました。また、私は大学に入学して以降も英文科に所属しているにもかかわらず、英語が本当に出来なかったのでセメスター留学に参加し、このままではいけないと考えていてこの機会で見つめなおそうと思い、セメスター留学を応募することを決めました。

② 留学決定から出発までの期間

留学決定からは出発までは、国際交流センターの方からも丁寧に説明を受けスムーズに手続きを行うことができました。また、カナダは半年以内の滞在だったのでビザを取る必要はありませんでしたが、アメリカへの旅行を考えていたので ESTA というアメリカ入国の際に必要となるビザを取っていました。ESTA はインターネットなどでも簡単に申請することができるので、アメリカへの旅行を迷っている方でも一応取っておくと便利だと思います。

③ 現地到着後

まず、私は関空からバンクーバーを経由してウィニペグ到着の予定でしたが、出発の日に関空に着くとバンクーバー行きの飛行機に不具合があるとのことで出発時間が遅れていました。その後、結局その日は飛行機が飛べないということで翌日の出発延期となり、すぐにホストマザーにも連絡し状況を伝えて翌日改めて出発をしました。そして、無事に夜頃にウィニペグに着くと空港でホストマザーが待っていてくれて車で 30 分ぐらいのホームステイ先に着きました。学校初日の日には、ホストマザーが大学の図書館で勤務している方だったので一緒に車で送っていただき、2 日目はバスでルートを教えてくださいながら一緒に学校へ向かいました。本当に親切でとても優しいホストマザーだったので安心することができました。

④ 語学研修期間

◆施設・環境・スタッフ

マニトバ大学はとても広く到着後すぐの頃は少し迷いました。IEP(Intensive English Program)では、200~700 までのレベル別でクラスがあり、クラスごとに部屋の建物も違うので留学期間中にもいろいろな建物で授業を受けることができるので大学内の移動も大変ですが楽しむことができました。また、各国からの留学生が集まって英語の勉強をするプログラムなので、アジア人がほとんどですがたくさんの国の人たちと関わることができて、とても良い環境でした。IEP のスタッフの方はみなさん本当に親切でフレンドリーだったのでとてもとても話しやすく授業のテストの質問にも答えてくれて良い人たちばかりでした。

◆授業内容・課題・試験

授業は、クラスによっても授業内容は異なるのですが主にどのクラスにも Grammar の授業が 1 限目にあり、Reading Writing Speaking の授業があります。どの授業でもグループディスカッションやグループワークが多かったです。毎月月末に中間・期末テストがあり、2 か月おきにクラスのレベルがあがります。テストはパソコンなので時間配分も重要になります。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

IEP が行っているボランティアに数回参加しました。そこでは、食品の品種別やホームレスの人たちに与える食品を分ける分別作業をするボランティアを IEP の友人たちとスタッフの方とで 6 人ほどでさせていただきました。私たちはパンや菓子パンを賞味期限の日にごとに分別する作業をしました。ボランティアをしてみて、たくさんの食糧を自ら捨てたので、改めて食べ物の大事さを感じました。

⑥ 現地での住まいについて

私のホームステイ先では、ホストマザーと二人暮らしでした。2 人暮らしには十分な落ち着きのあるとても快適なお家でした。基本的に朝昼晩 3 食全て用意をしてくれて日本の白ご飯も多く出してくれていたのがありがたかったです。家からバス停までは 5 分程で、雪が降っている日だと 10 分程かかり天候が悪い日は少し大変でしたが、家から学校まではバスで 15 分程の距離でとても通いやすかったです。洗濯機やお風呂や帰宅の時間の制限は全くありませんでした。帰宅時間が遅くなるときは連絡をしていました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

12月のFinal exam 終了後年末年始に2週間程の長期休暇があり、私はカナダのケベックシティー・モントリオール・トロントの3都市を旅行しました。現地からの旅行なのでとても安く旅行をすることができました。また、旅先でもとても良い人と出会うことができたり旅先で友達とトラブルを乗り越えたり、出会いに感謝したりと忘れられない旅をすることができて本当に良い思い出となっています。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

私が留学をして楽しかったと思うことは、IEPでの授業やアクティビティです。日本人だけでなく異なる国の人たちと仲良くなりコミュニケーションをとり毎週スポーツワークやアクティビティに参加し、時間を共有して楽しむことができたことが本当に私の中で良い思い出となっています。また、カナダは多民族国家なのでたくさんの人種の方が街にも大学にもいるのでとても良い経験を味わうことができました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

留学中に一番辛かったことは交通の便です。ウィニペグでは電車がなくバスが主な交通手段となっています。そのため、バスが来る時間を教えてくれるアプリもあるので時間通りにバスが来るときはとても便利なのですが、ときどき本当にバスが来ない時がありました。真冬の寒い時に家の最寄りからのバスや学校からの帰りのバスが20分～1時間以上来ない日が何度かあり、真冬の朝や夜は本当に寒かったのでバスがいつ来るのか不安になりながら待っている時間がとても辛かったことを覚えています。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

私は外国の本当に良いなと思うことがあり、それは“How are you?”という言葉です。カナダだけでなくアメリカもそうだと思うのですが、友達や知り合いだけでなくその日初めての人と会った時・お店に入った時・スーパーのレジに行った時などで、どんな時でも様々な人たちとすぐに“How are you?”の言葉を交わすことです。客と従業員という関係の初対面でもそこから新たに会話も生まれることもあるので、日本でもこのような素晴らしい習慣があればいいなと本当に思いました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは課題やセメスター留学の毎月提出する月報を作成したり、携帯を紛失したり壊れた際の連絡手段になるので、絶対に持っていく必要があると思います。また、秋学期にウィニペグへ行かれる方は、ヒートテックやヒートテックタイツなどを多めに持っているといいかと思います。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

語彙力の向上とリスニング力の向上です。留学では、とにかく英語を聞く環境にいるので最初の方は理解していなくても知らず知らずの間にリスニングが聞こえてくるように思います。また、語彙力や日常会話のフレーズの知識が増えたので音楽を聞くときに歌詞見ながら聞いてみるなど留学前よりも英語に対する意識が確実に変わりました。そして、チャレンジ精神も増え自分の精神面でも成長することができました。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学は自分を成長させることができると思います。英語力の向上だけでなく、海外に行きたくさんの外国の方たちと触れ合うことや自分で全て行動することで、そこでとても視野を広げることができます。一番大切なことは、ネガティブにならないでポジティブに物事を考えることです。留学中はいろいろな不安が付き物ですが、自分がポジティブであることで見方も必ず変わってきます。半年間のプログラムですが、振り返ってみると本当に行ってよかったと思えるものなので、是非経験してみしてほしいと思います。

Ⅳ. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

将来の目標は、TOIECの点数の向上を目標とし英語を生かすことができる国際関係の職業に就きたいと考えています。またいつか、もう一度留学に行きたいなと思っています。



ホストマザーとホストマザーの武道仲間の友人とご飯にいきました。



アクティビティで IEP のみんなと学校内のスケート場でスケートをしました。